別紙　参考様式２

令和５年度研究推進計画

学 校 名　東広島市立豊栄中学校
校 長 名　　矢原　豊祥

１　研究主題等について

（1）　研究主題
豊かに自己を表現する生徒の育成
～キャリア教育の視点を活かした単元づくりを通して～

（2）　主題設定の理由
これからの時代を生きていく生徒たちは，身に付けた知識・技能を活用して，世の中の様々な課題に対応していかなければならない。答えがひとつではない問題に対する解決方法を模索する過程では，自分の考えを他者に伝える「表現力」は重要である。課題に対する自分の考えを，聞き手のニーズに応じた内容や，その場に応じた適切な方法を選び，豊かに表現できる力を育成する必要がある。
以上のことから，本校では令和３・４年度，研究主題を「豊かに自己を表現する生徒の育成　～多様な表現方法を通して～」と設定し，研究推進に取り組んだ。その結果，思考・対話・表現を位置づけた「豊栄中授業スタイル」の確立や本質的な問いによる単元構想，総合的な学習の時間における「豊栄版ＴＥＤ」などの取組を通して，生徒意識調査や学力調査等の数値が向上するなどの一定の成果がみられた。併せて，豊かに自己を表現するには，生徒自身が，どのような相手に，何のために，何を表現するのかといった「相手意識」や「目的意識」を明確に持ち，表現したい内容やその材料となる体験や，伝えたいという内発的動機を持つことが重要であることが分かった。
これらを踏まえ，今年度本校では，引き続き主題を「豊かに自己を表現する生徒の育成」と設定した一方で，副題を「～キャリア教育の視点を活かした単元づくりを通して～」と改め，新たにキャリア教育の視点を加えて研究を進めていくこととした。
「キャリア教育の視点を活かした単元づくり」とは，各教科においては，教科本来のねらいを達成する授業を展開するとともに，身に付けた力が適切な自己表現力，問題解決力，強固な意志などとして発揮できることに，生徒自身が気付くことができるような場面を工夫することである。また，道徳，特別活動，総合的な学習の時間においては，本来のねらいを達成するための体験活動を通して，自分を更に成長させるきっかけになる課題と出会う（なりたい自分を見つける）場面や課題の解決に挑む（なりたい自分に向けて努力する）場面の設定を工夫することである。具体的には，授業内外において，これまで以上に地域の人材等を積極的に活用した単元を実施する。生徒自身が学びを教室内に留めることなく，社会生活を見据えた学びを行うことで，これまで以上に「相手」や「目的」を明確に意識したり，内発的動機を高めたりすることができると考える。
以上のことから，キャリア教育の視点を活かした単元づくりを行うことは，豊かに自己を表現する生徒の育成につながると考え，本主題を設定した。

（3）　研究仮説
キャリア教育の視点を活かした単元づくりを行うことで，豊かに自己を表現する生徒を育成することができるであろう。

（4）　研究内容
○キャリア教育の視点を活かした単元づくり
○各教科で求められている「表現力」を育成するための授業の在り方

(5)　検証の方法及び指標
①　各教科や校内行事における表現力のルーブリック評価による分析
②　実力テスト（前期・後期）・定期試験（全４回）による出題・分析
③　学校評価アンケート調査及び分析（年３回）
④　地域住民等を招いた発表会の実施とアンケート調査

２　検証計画

①　各教科や校内行事における表現力のルーブリック評価による分析
・各教科や校内行事における表現力のルーブリック評価を行い，指導による変化を分析する。

②　実力テスト（前期・後期）・定期試験（全４回）による出題・分析
・実力テスト（１・２年生は年２回，３年生は４回）における結果を分析する。
・年４回実施される定期試験に表現力問題を取り入れ，各自分析を行う。

③　学校評価アンケート調査及び分析
・自己を豊かに表現する生徒の育成に関わって，「授業等で自分の考えを，自分の言葉で表現している。」項目のアンケート調査及び推移の分析を行う。
・キャリア教育の視点を活かした単元づくりに関わって，「授業で学んだことが，実生活の中で活かすことができる。」項目のアンケート調査及び推移の分析を行う。

④　地域住民等を招いた発表会の実施とアンケート調査
・総合的な学習の時間を核とした「豊栄版ＴＥＤ」発表会を，地域住民等を招いて年間数回実施。共通のアンケートを実施するとともに，生徒の自己肯定感が高まるようフィードバックを行う。

３　校内研修計画

○広島版「学びの変革」アクション・プラン及び「表現力」，「キャリア教育」の育成に係る校内研修会を計画的に進める。
○学年部会は必要に応じて随時，研究部会を週に１回開催し，研修を重ねる。
○地域の小学校や連携型中高一貫教育校と連携し，総合的な学習の時間を中心に授業交流等を推進する。
○各種の研究会に参加し，そこで得た成果や資料の要点を全体に報告する。
○全体・ブロック別研究授業・協議会を実施し，東広島市教育委員会及び広島県教育委員会の指導主事の助言を仰ぐ。

●校内研修会　◎研究授業　★小中／中高連携

4月	・各教科年間学習計画を保護者に配布 ●校内研修会① （研究主題／研究推進計画／授業づくり／豊栄版「ＴＥＤ」の取組／研究授業希望／家庭学習について／服務規律研修） ●校内研修会② （「本質的な問い」による授業改善について／ＩＣＴ機器その他の活用について）
5月	◎研究授業① ★豊栄町教育研究会（小中連携）
6月	◎研究授業②
7月	◎研究授業③
8月	●校内研修会③ （主体的・対話的で深い学びに関する研修／服務規律研修） ●校内研修会④ （コグトレ分析について／服務規律研修／前期前半まとめ） ★豊栄町教育研究会基礎学力部会・小中合同研修会（小中連携） （全国学テ・ＮＲＴ分析／ＳＣ活用について）

9 月	◎研究授業④
10 月	◎研究授業⑤ ●校内研修会⑤ （前期まとめ／服務規律研修） ◎研究授業⑥
11 月	◎研究授業⑦
12 月	◎研究授業⑧ ●校内研修会⑥ （後期前半まとめ）
1 月	◎研究授業⑨ ●校内研修会⑦ （服務規律研修等）
2 月	◎研究授業⑩ ★総合的な学習の時間に係る合同実践発表会（中高連携） ★豊栄町教育研究会まとめ（小中連携） ●校内研修会⑧ （服務規律研修等）
3 月	●校内研修会⑨ （年間のまとめ／来年度の研究計画案について）

4　研究公開の予定について

公開予定日	
公開範囲	
公開内容等	